

平成二十九年
十月二十二日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報

(徳島県第一区)

徳島県選挙管理委員会



後藤田まさずみ

48歳

自由民主党公認



にき博文



山本千代子

改革保守! 徳島創生、いつも国民目線!!

- **徳島観光立県!**
阿波踊りの再活性化、観光客倍増へ。
外国人観光客への更なるアプローチ。
四国新幹線ルートの実現。
- **徳島産業立県!**
徳島大学を中核としたイノベーション雇用創生。
中小企業への徹底した海外進出支援(ドイツ方式)。
県独自の海外拠点作り。
- **健康スポーツ立県!**
スポーツ活性化による健康寿命日本一へ。
スポーツの産業化。
スタジアム建設プロジェクト88プロジェクトチーム等
- **農林水産業の挑戦!**
他県に負けない輸出戦略。
徹底したコスト削減。
農林水産物の高付加価値化。
- **産業・雇用に合わせて教育改革!**
徳島産業に合わせた人材教育。
新産業戦略に合わせた人材教育。

後藤田まさずみの具体策

- ### 5つの理念(主張)
- 1 今も未来も夢を託せる政治
 - 2 ぶれない筋を通す政治
 - 3 ため息にも耳を傾ける政治
 - 4 生命・財産を守る政治
 - 5 都市と渡り合える地方のための政治

- わくわくする 徳島創生ビジョン
- 子育て世代未来投資
- 元気で健やかな 高齢社会の充実
- 攻めのモノづくり
- 国土強靱化と災害対策

誠実な政治をとりもどそう!

比例区は希望の党

希望の党



プロフィール

- 1966年 阿南市宝田町に生まれる
- 1979年 阿南市立宝田小学校卒業
- 1982年 徳島大学附属中学校卒業
- 1985年 徳島市立高校卒業
- 1991年 東京大学教養学部卒業
- 1997年 徳島大学医学部卒業
- 2001年 つるぎ町立半田病院、
県立海部病院非常勤
- 2009年 衆議院議員初当選
衆議院議員 厚生労働委員会・
予算委員会・消費者問題特別
委員会に所属
- 2010年 那賀町立上那賀病院で非常勤
- 2014年 徳島大学大学院 医学博士取得
- 2016年 民進党徳島県連代表就任
- 2017年 第48回衆議院議員総選挙
「希望の党」公認で出馬

<https://ja-jp.facebook.com/hirobumi.niki>

富の偏在と貧困や格差を広げた アベノミクスから安心と希望の政策へ

1. 年金が今以上減らないように
安倍政権は2016年末に年金カット法案を強行採決。年金がこれ以上減ると困ります。地域の経済にも影響します。わたし達は年金減額をストップし、持続可能な年金制度の抜本的改革をはかります。年金の株式運用50%への拡大を見直します。
2. 安心・納得の医療・介護を
予防医学を実践し、健康寿命を延ばします。医療と介護の連携を進め、在宅でも安心して暮らせる体制を整えます。医療・介護費用の国民負担増に反対します。介護の2025年問題への早期対応をはかります。地域包括ケア(かかりつけ医と公的病院及び介護サービスとの連携)を強化します。
3. 子育て・教育の充実で若者に希望を
すべての子どもに、就学前保育・教育を無償化します。保育士・幼稚園教諭の賃金を月額5万円以上引き上げます。児童手当を「子ども手当」に改め、すべての子どもに給付します。小中学校給食費の無償化、所得制限のない高校無償化をおこないます。大学授業料の減免、返さなくていい奨学金の大幅拡充をおこないます。現行奨学金返済の減免をします。
4. 雇用・働き方
高度プロフェッショナル制度(残業代ゼロ法案)に反対します。長時間労働規制法(残業代ゼロ法案)を含む長時間労働規制法の早期成立をはかります。育児休業給付の拡大をはかります。同一価値労働同一賃金の実現。非正規労働者に対する待遇の差別を禁止します。希望する非正規社員の正社員化をはかります。原則、派遣労働禁止の法制化に向けた議論を開始します。最低賃金の大幅引き上げ。賃金・労働条件を改善します。
5. 農家や漁業に対する所得補償制度を法律にする
6. 中小企業・産業活性化のために
商法を改正し、中小・零細企業の経営者の無限責任を禁止します。手形支払いを制限し、連鎖倒産を防ぎます。起業をサポートするため、小口融資を拡充します(小口の無担保融資)。地元の大学や行政と組んで、技術革新でリードする徳島をめざします。
7. 税制改革
租税回避行為を制限します。金融所得課税の税率引き上げなど税の改革をおこないます。下請けからの商品調達価格や従業員の給料をUPした企業にのみ法人税減税(内部留保の活用)をします。

権力の「私物化」政治をとめる!

安倍政権は野党の憲法53条による臨時国会開催要求を三カ月も放置し、ようやく開催された臨時国会において、首相の所信表明もなく、野党の質問もいまま衆議院の冒頭解散を行いました。とんでもない権力の私物化、究極の議会制民主主義の破壊です。

森友・加計学園問題では都議選のあとで丁寧な説明責任を果たすと言いつつ、その審議すら拒否しました。今回の解散はまさに大義なき森友・加計学園隠し解散です。平然と国民を欺き、権力の「私物化」をはかる安倍政権の退陣を今すぐ求めます。国民に誠実な政治を取り戻さなければなりません。

「市民+野党」の共闘で

安倍政権にさよならを

比例代表は 日本共産党

力あわせ未来ひらく
「政党内閣」でお書きたまひ

個人名を書く
と無効です

日本共産党は、市民と野党の共闘をブレずにつらぬく党です。安倍法制||戦争法の廃止、立憲主義の回復、憲法9条をまもるために、他の立憲野党、市民と力をあわせまします。

- **国政私物化、憲法こわし、民意を踏みつけにする、安倍政権の暴走に審判を**
「いっしょに市民の声がとれる新しい政治へ、一歩踏みだしましょう。」
- **消費税10%中止、格差と貧困をただす**
富裕層や大企業に応分の負担を求めて実現します。
- **国保・介護の負担軽減** ○給付制奨学金の抜本的拡充 ○農産物の価格保障・所得補償の充実
- **8時間働けば普通に暮らせる雇用と賃金**
原発再稼働中止、再生可能エネルギーへの転換
- **9条改憲許さないの一点で力をあわせましよう**
憲法違反の安保法制は廃止を
憲法に自衛隊を書き込めば、海外で「戦争ができる国」になります。
- **核兵器禁止条約に参加を**
唯一の戦争被爆国国民のねがい、「核兵器禁止条約」に参加する政府を「いっしょにつくりましょう。」
- **北朝鮮問題は、経済制裁強化と一体「対話による平和的解決」を**
子どもたちに平和な世の中を残したい。戦争につながるあらゆる道を断ち切ります。

「安倍内閣がつづくことが国難だ」——こんな声がちまたにあふれています。

国政の私物化、憲法破壊、民意無視の安倍政治をこのまま続けていいのかが最大の争点です。ごいっしょに、安倍政権にさよならの審判をくだしましょう。

私は、森友・加計疑惑の徹底解明に力をつくします。社会保障、子育て、若者応援の政治をつくりたい。疲弊する地方経済が元気になる政治をめざします。安保法制廃止、立憲主義の回復へ全力をあげます。

私は、野党共闘を前進させるために、今後も力を尽くします。ご支援をよろしくお願ひします。

略歴 1949年、板野町生まれ。徳島大学医学部附属衛生検査技師学校卒。徳島健生病院に勤務。現在、党県委員、党平和運動部長

この選挙公報は候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。なお、掲載の順序は、公職選挙法第169条の規定に基づき、くじで定められたものです。

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日 **10月22日(日)**

投票時間……午前**7**時から午後**8**時までです

(投票所によっては投票時間の異なるところがありますから御注意ください)

大事な投票、忘れずに！



小選挙区選挙は
投票用紙に
候補者名を！

比例代表選挙は
投票用紙に
政党名を！

徳島県選挙管理委員会